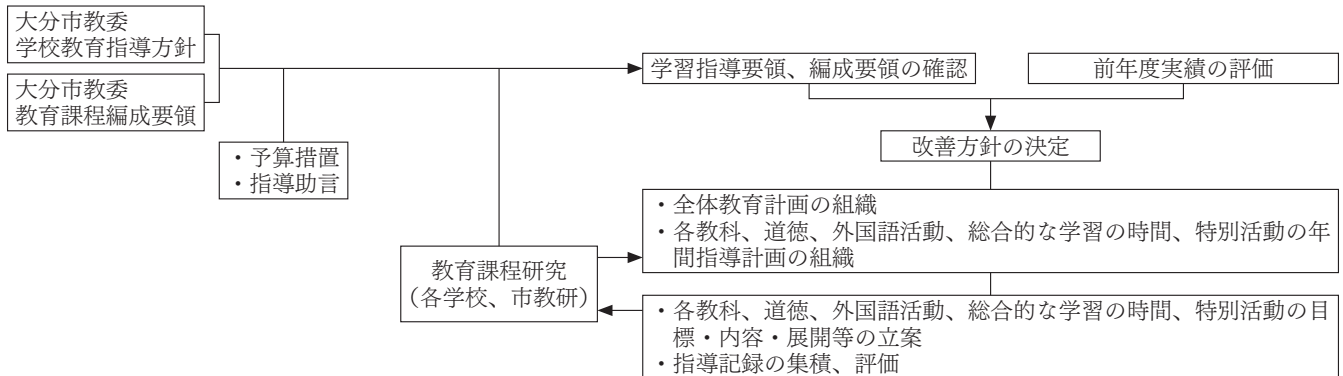


# 学 校 教 育

## 1 教育課程の改善と充実

大分市学校教育指導方針、教育課程編成要領等に基づき、各学校において地域社会や学校の特性をいかし、創意工夫をいかした特色ある教育課程の編成・実施及び改善にいかす評価に努める。

### (1) 教育課程改善の進め方



### (2) 小中一貫教育

大分市教育委員会では、子どもたちの生きる力の育成を目指し、小中学校の教職員が共通の教育観・指導観をもち、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行う小中一貫教育を市内全中学校区において推進している。

また、研究する学校を段階的に指定し、本年度は、小中一貫教育校賀来小中学校及びモデル校、合計11中学校区32小中学校において、学校・地域の実情に応じた小中一貫教育の研究を推進している。

#### 【平成28年度の重点】

- 重点目標の設定と成果・課題の検証及び積極的な情報発信
  - ・校区の小中一貫教育の重点目標を設定し、取組を焦点化する。
  - ・設定した重点目標の達成状況を把握するうえから、各種アンケート調査等を計画的に実施するなどして成果や課題の検証を行い、取組を改善する。
  - ・小中一貫教育の取組状況や成果・課題の検証結果等を学校公開や懇談会、学校ホームページや広報紙等あらゆる機会を通じて、家庭や地域社会へ積極的に情報発信する。

#### 【併設型小中一貫教育】

##### ○賀来小中学校

##### <主な取組内容>

- ・9年間を見通した系統的な教育課程の編成・実施 ・前期、中期、後期の3段階に応じた教育活動
  - ・第1学年から英語科を実施 ・中期での一部教科担任制の実施 ・キャリア教育の推進
  - ・公開研究発表会の開催 ・大分市版コミュニティ・スクールの導入
- ※教育課程特例校として文部科学大臣より認可（平成20年10月16日）

#### 【連携型小中一貫教育】

##### ○各中学校区

##### <共通の取組内容>

- ・年間指導計画に位置付けた「小中合同授業研究会」を通じた授業改善
- ・全校または特定の学年・集団での児童生徒の合同行事、交流行事の実施
- ・中学校区で9年間を見通した学習・生活のきまりの活用及び改善

- |          |          |          |                |
|----------|----------|----------|----------------|
| ○碩田中学校区  | ○野津原中学校区 | ○鶴崎中学校区  | (1中複数小連携型モデル校) |
| ○植田東中学校区 | ○大在中中学校区 | ○坂ノ市中学校区 |                |
| ○吉野中学校区  | ○竹中中学校区  | ○神崎中学校区  | (1中1小連携型モデル校)  |
| ○佐賀関中学校区 |          |          |                |

##### <主な取組内容>

- ・学校・地域の特色をいかした系統的な教育課程の編成
- ・小中学校間での乗り入れ授業の実施
- ・公開研究発表会を通じた成果の還元
- ・大分市小中一貫教育推進協議会への参加（年間2回開催）



神崎中学校区の合同海岸清掃の様子

(3) 大分っ子基礎学力アップ推進事業

① 学力調査の実施状況

児童生徒の学力の状況を客観的に把握し、各学校における指導の工夫改善にいかす。

名 称	学 年	教 科
大分市標準学力調査	小学校4年	国語、算数、理科
	中学校1年	国語、数学、理科、英語

※その他、国、県で実施している調査

全国学力・学習状況調査	小学校6年	国語、算数
	中学校3年	国語、数学
大分県学力定着状況調査	小学校5年	国語、算数、理科
	中学校2年	国語、数学、理科、英語

② 大分っ子学習力向上推進事業

児童一人一人に確かな学力をはぐくむことを目指して、市内の小学校において、教科指導における個に応じたきめ細かな指導を行うための非常勤講師と、特定小規模校（複式学級がある小学校）に、学年別の指導や課題別の指導を行う非常勤講師を大分市独自で採用し、申請のあった学校に配置する。

ア 小学校での算数、国語等の教科指導における個別指導や習熟度別指導

（小学校に20名の非常勤講師を配置）

イ 小学校の複式学級における学年別の指導や課題別の指導

（2複式学級を有する小学校に5名の非常勤講師を配置）

③ 学校研究の助成

自ら学ぶ力の育成を図る教育活動の充実を目指し、教科指導の在り方等について研究を深め、基礎学力向上研究推進校の児童生徒の確かな学力の向上に資するとともに、公開授業研究会等を通し、その成果の普及に努め、本市児童生徒の学力向上に向けての取組の充実に資する。

事 業 名 等	指 定 学 校 名	備 考
大分市基礎学力向上研究推進校	南大分小学校、高田小学校、滝尾小学校、田尻小学校 戸次中学校、城東中学校	市指定

(4) 特別支援等教育活動サポート事業

大分市独自で補助教員を配置し、教育的配慮の必要な児童生徒や学校になじめない児童生徒等への支援を行うなど、一人一人によりいっそう行き届いた教育の実現を図っている。

補助教員は、次のような児童生徒が在籍する学級や学校への支援を行っている。

ア 肢体が不自由で、常時介護が必要な児童生徒

イ 耳が不自由でノートテイクが必要な児童生徒

ウ LD、ADHD児等、教育的支援の必要な児童生徒

エ その他、学校運営上特に適切な対応が求められる児童生徒

本年度は、幼稚園に12名、小学校に82名、中学校に17名の補助教員を配置した。

(5) 大分市学校図書館活性化事業

学校図書館を効果的に活用した教育活動の一層の充実が求められていることから、大分市では、学校図書館法に基づき、平成15年度から12学級以上の小中学校に教育課程に即した読書指導の中心的な役割を担う司書教諭を配置している。

また、豊かな感性や情操をはぐくむ読書活動の一層の推進を目指し、平成19年9月から教職員やボランティアと連携・協力して学校図書館の業務を支援する職員「学校図書館支援員」をすべての小中学校に配置している。

なお、平成25年度より、学校図書館支援員を6名増員の50名とし、大規模校15校には専任配置している。

## 学 校 教 育

### (6) 生き生き学習サポート事業

各学校の地域と一体となった多様な学習活動を支援し、子どもの学習意欲の喚起や自ら学び自ら考える力などの生きる力をはぐくむため、専門的な知識、技能、技術や豊富な経験を有する者を、学校教育支援員として登録する「学校教育支援バンク」を設置する。市内各小中学校は、学校教育支援員及び各学校の人材バンクの地域人材を活用する。

「学校教育支援バンク」

分 野		人数	分 野		人数
教育等一般	人権・同和教育	3	産業・技術	産業・技術	1
	福祉・健康	0		美術・工芸	6
人文・社会科学	歴史（郷土史）・地理	11	芸術・文化	音楽・芸能	16
	政治・経済	4		文学・文芸	4
	民族・文化財	0	体育・スポーツ・レク	レク・体力づくり	3
自然科学	天文・地学	1	家庭生活・趣味	食生活	4
	動物・植物	5		園芸・手芸	8
	科学	2	市民生活・国際理解	国際理解・協力	6
	算数・数学	1		環境教育	10

### (7) 武漢市学校交流事業

本市と武漢市との友好交流事業の1つとして、本市中学生と武漢実験外国語学校の生徒が体験入学や交流活動を通し、相互の理解と友情の促進を図るとともに、国際社会に貢献できる人材の育成を図る。

- 派遣事業 市内の中学生3～5名と引率教師1名を武漢実験外国語学校に1週間程度派遣し、交流や学習の機会をもつ。
- 受入事業 武漢実験外国語学校の生徒5名と引率教師1名を市内中学校に1ヶ月間受け入れ、交流や学習の機会をもつ。

### (8) 防災体制の確立

「大分市学校災害対策マニュアル（改訂版Ⅱ）」等に基づき、家庭や地域社会等との密接な連携・協力のもと、各学校の防災体制の見直し・改善を進める。また、児童生徒に災害に適切に対応する能力を身に付けさせるため、学校の教育活動全体を通じて、体系的・計画的な防災教育を推進する。

### (9) 学校評議員

#### ① 学校評議員制度とは

より一層地域に開かれた学校づくりを進める観点から、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みを制度的に位置付けたものである。小中学校1校につき5名以内で構成され、本年度は365名が校長の推薦により、大分市教育委員会から委嘱されている。また、平成21年度から幼稚園においても、学校評議員制度を導入し、今年度は合計81名の学校評議員を委嘱している。

#### ② 年間の活動

- ア 年間3回の学校評議員会
- イ 学力向上会議、授業参観、学校評価等への参加
- ウ 入学式、卒業式、運動会の学校行事への参加

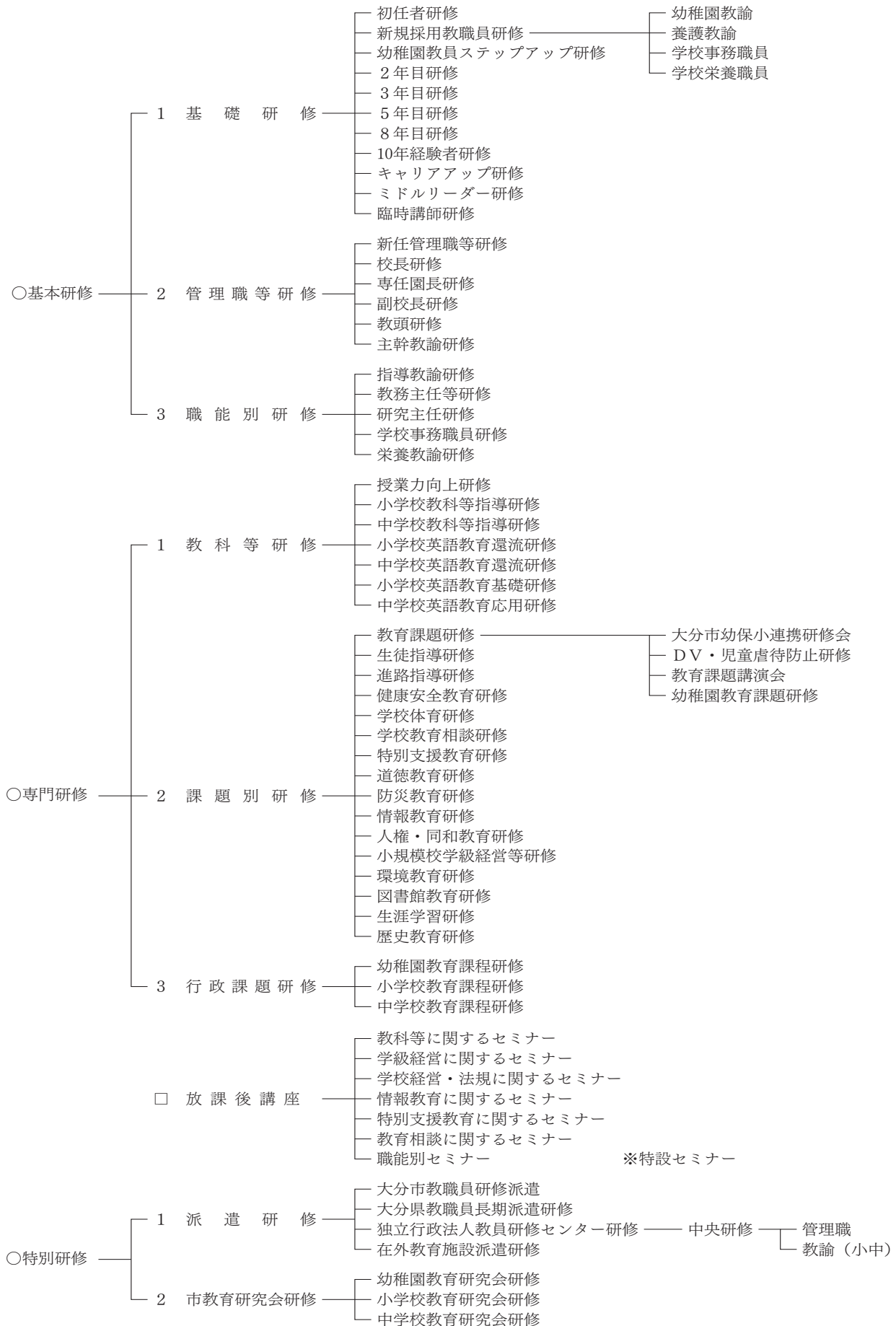
#### ③ 学校評議員研修会

制度の一層の充実を図るため、平成19年度から各校の学校評議員を対象に、「学校評議員研修会」を実施し、大分市学校教育指導方針や学校評議員制度についての学習、日頃の取組の情報交換等を行っている。

### (10) 補助教材の編集と配布または大分市ホームページでの公開（資料提供）

種 類	対象学年	種 類	対象学年
小学生のための自転車の正しい乗り方	小3	わたしたちと環境（くらしとごみ）	小4・5・6
水道とくらし	小4	ふくしの心	小5・6
安全なくらしを守る大分市の消防	小4	かしこい消費者になろう	小6
くらしと下水道	小4		

## 2 研修体系



## 学 校 教 育

### (1) 大分市教職員研修派遣

目 的 大分市立幼稚園、小中学校等の教職員を他府県の国公立幼稚園、小中学校、教育機関等に派遣して、研究状況等を研修させることにより、教育実践に必要な知識・技能を習得させ、指導力の向上を図るとともに、本市教育の改善、振興に資する。

対象者 校長、園長、教頭、教諭（主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭、幼稚園教諭を含む）、学校事務職員

期 間 5日間以内

年度		人数	内 容	派 遣 先
23	短期	12	小中一貫教育、学力の定着・向上、学校事務職員の教育支援の在り方	呉市、京都市、富山市、つくば市、宇治市
	中期	4	小中一貫教育、通級指導、校内研修の在り方、学力向上	久留米市、熊本市、東京都
24		21	小中一貫教育、学力定着・向上、情報教育学校事務職員の教育支援の在り方、防災教育特別支援教育、外国語活動	京都市、東京都、静岡市、呉市、福井市、北九州市、美弥市、須崎市、新宮市、佐賀市、武雄市、福岡市、大阪市、尾道市
25		18	小中一貫教育、学力定着・向上、学校組織マネジメント、小規模特認校における特色ある教育活動の在り方、授業力向上（国語科）、情報教育、通常学級における特別支援教育、学校事務職員の教育支援の在り方	つくば市、三鷹市、府中市、深谷市、日野市、岐阜市、神戸市、南国市、唐津市、玉野市、山鹿市、武雄市、福岡市、鹿児島市
26		27	小中一貫教育、学力定着・向上、防災教育、カリキュラムマネジメント、情緒障害短期治療施設及び併設学校、授業力向上（算数科、外国語活動）、体力向上、認定こども園、新聞を活用した効果的なNIE実践、不登校対応策、学校事務職員の教育支援の在り方	松本市、徳島市、福岡市、府中市、姫路市、京都市、宇都宮市、荒尾市、玉名市、新見市、松山市、つくば市、長崎市、比企郡嵐山町
27		21	小中一貫教育、学力定着・向上、カリキュラム・マネジメント、情緒障害短期治療施設及び併設学校、授業力向上（外国語活動）、特別支援教育、新聞を活用した効果的なNIE実践、学校事務職員の教育支援の在り方	府中市、竹原市、福岡市、東京都、金沢市、熊本市、秋田市、横浜市、水戸市、京都市、貝塚市、日進市、奈良市

※この制度は昭和43年度から継続している。平成24年度から短期派遣・中期派遣をまとめ、「大分市教職員研修派遣」として実施している。

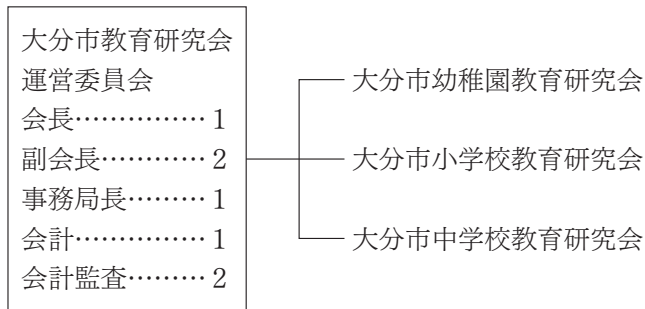
### (2) 教育実践記録

研究意欲を高め、教育の振興を図ることを目的とし、昭和33年から始まり平成28年度で59回目を迎える教育実践記録の募集を継続事業として実施している。

年度		23	24	25	26	27
区分	優 秀	3	2	2	2	4
	優 良	4	2	2	4	5
	佳 作	5	5	3	6	6
	計	12	9	7	12	15

### 3 教育研究会

(1) 大分市教育研究会の組織と体制



(2) 年間研究計画

① 大分市幼稚園教育研究会

集 会 名	期日(予定)	内 容
全 市 集 会	5月11日	研究計画、班別研修
班 別 集 会	6月10日	班別研修
班 別 集 会	7月1日	班別研修
班 別 集 会	8月25日	班別研修、事前研
班 別 集 会	10月21日	提案保育、時後研
班 別 集 会	12月2日	班別研修
班 別 集 会	1月13日	班別研修、研究のまとめ

② 大分市小学校教育研究会

集 会 名	期日(予定)	内 容
部 会 研 究	5月18日	組織の決定、研究課題、 研究仮説、研究計画
部 会 研 究	6月15日	指導案審議
部 会 研 究	7月6日	検証授業、研究協議
部 会 研 究	8月26日	指導案審議
部 会 研 究	10月12日	検証授業、研究協議
部 会 研 究	1月18日	指導案審議
部 会 研 究	2月1日	検証授業、研究協議、 部会研究のまとめ

③ 大分市中学校教育研究会

集 会 名	期日(予定)	内 容
全 市 集 会	5月26日	部会編成、研究主題、年間計画
地 区 集 会	6月30日	授業研究、課題研究
地 区 集 会	8月25日	課題研究、実技研修、実地見学
地 区 集 会	9月30日	授業研究、課題研究
地 区 集 会	12月1日	授業研究、課題研究、 研究のまとめ
地 区 集 会	1月13日	課題研究、情報交換（授 業研究）、研究のまとめ

### 4 キャリア教育

(1) キャリア教育の重点

- ① 地域や学校の実態に即し、自校のキャリア教育の目標や育成すべき能力・態度等を明確にした全体計画を作成し、教育活動全体を通して組織的・系統的なキャリア教育の推進に努める。
- ② 校長の方針に基づき、全教職員がキャリア教育の目標を共有しながら適切に役割分担を行うなど、校内推進体制を充実する。
- ③ 各教科等のキャリア教育に関する内容の相互の関連性や系統性を踏まえた指導計画を作成し、発達の段階に応じた教育活動を展開する。
- ④ 学校種間、家庭・地域社会及び関係諸機関との緊密な連携により、進路情報を収集・提供する。

## 5 学校体育

### (1) 体力・運動能力調査

新体力テストを実施することにより、児童生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、今後の体育指導の資料とするとともに、児童生徒一人一人が体力・運動能力に関心を持ち、進んで自己の体力や能力に応じた体育活動を実践するための動機づけとする。

### (2) 体力アップおおいた推進事業

※ 県委託事業

市内の小中学校4校を指定し、児童生徒の体力向上や望ましい生活習慣の確立等について実践研究を行う事業であり、その成果を市内に普及する。

### (3) 大分市水泳指導者研修

小中学校の教員の指導力を高めることを目的に、泳法指導及び安全管理についての研修会を実施する。

### (4) 小・中学校体育主任研修

学校水泳プールの安全衛生管理ならびに、年間指導計画を見通した体育主任の役割や実務について理解を深め、体育主任としての実践的指導力の向上にかかわる研修会を実施する。

### (5) 武道指導者養成講習会

※ 県教委共催

中学校の保健体育担当教員等を対象に、武道の基本技能の習得を図り、実技の指導力を高めるとともに、武道指導及び学校体育指導の充実を図るために実施する。

### (6) ダンス指導者養成講習会

※ 県教委共催

中学校保健体育担当教員等を対象に、ダンスにおける意欲を高める学習指導の在り方や体力を高める学習指導の在り方等、指導者として必要な知識や技能を習得することにより、ダンス指導及び学校体育指導の充実を図るために実施する。

### (7) 体力向上指導研修

小学校における体力向上に向けた指導のあり方について、コーディネーショントレーニングの理論及び実技をとおして、実践的指導力の向上を図るために実施する。

### (8) 学校体育指導者研修

学校体育における諸課題、また、学習指導要領の改訂に則した体育授業の計画、実施に向け、講義及び実技をとおして、実践的指導力の向上を図るために研修会を実施する。

### (9) 大分っ子体力アップわくわく事業

小中学校に対して、スピード・全身持久力・瞬発力の体力要素で構成されている体づくり運動・陸上運動・器械運動の3領域の専門的知識を持った指導者を派遣し、体育授業を充実させることにより、小中学生の体力向上を図るとともに担当教師の技術面における指導力の向上を図るため実施する。

### (10) 運動部活動指導者研修

運動部活動における選手の発達の特性に合った効果的なトレーニングのあり方について、講義及び実技をとおして理解を深めるとともに、実践的指導力の向上を図るため実施する。

### (11) 中学校体育連盟各種競技会

総合体育大会、新人大会、駅伝競走大会等を実施する。

#### ① 運動部活動入部生徒の状況(平成28年5月31日現在)

- ・合計…部数(497部)、部員数(8,092名)
- ・市内中学生12,560名に対し、約64%の生徒が入部し、活動している。

#### ② 平成28年度大分県中学校総合体育大会

- ・期日 平成28年7月26日(火)～29日(金)
- ・会場 大分市、別府市、豊後大野市、宇佐市

#### ③ 平成28年度九州中学校体育大会

- ・期日 平成28年8月4日(木)～12日(金)
- ・会場 九州各県

#### ④ 平成28年度全国中学校体育大会

- ・期日 平成28年8月17日(水)～25日(木)
- ・会場 北海道・東北ブロック

#### ⑤ 平成27年度大分県中学校総合体育大会成績

○優勝…団体15競技、個人56種目

- ・陸上男子(坂ノ市中)
- ・陸上女子(滝尾中)
- ・体操男子(大在中)
- ・体操女子(大在中)
- ・新体操女子(南大分中)
- ・水泳女子(南大分中)
- ・バレーボール女子(植田南中)
- ・バスケットボール女子(戸次中)
- ・サッカー(滝尾中)
- ・ソフトボール男子(明野中)
- ・ソフトボール女子(城東中)
- ・ハンドボール男子(滝尾中)
- ・ハンドボール女子(原川中)
- ・空手道女子形(明野中)
- ・テニス女子(南大分中)

⑥ 平成27年度九州中学校体育大会成績

ア 団体

- 優勝 新体操女子（南大分中）
- 第2位 ハンドボール男子（滝尾中）  
体操女子（大在中）  
ソフトテニス女子（神崎中）
- 第3位 体操男子（大在中）  
バレーボール女子（植田南中）

イ 個人

- 優勝
  - ・平野慧（碩田中）新体操女子（総合）
  - ・平野慧（碩田中）新体操女子（ロープ、フープ）
  - ・岩崎凜花（神崎中）ソフトテニス女子  
藤澤佳蓮
- 第2位
  - ・三ツ股希（賀来小中）水泳男子（100m平泳ぎ）
  - ・河内健（大分西中）テニス（シングルス）
- 第3位
  - ・萱島和（坂ノ市中）陸上男子（1年1500m）
  - ・菅野遼（明野中）水泳男子（100m自由形）
  - ・菅野遼（明野中）水泳男子（200m自由形）
  - ・川野創来 津崎海斗 小野雅人 小野高誠（城東中）水泳男子（400mメドレーリレー）
  - ・水間夢翔（明野中）柔道男子（60Kg級）
  - ・山中 瞭（大分西中）柔道男子（90Kg級）
  - ・安達志保（鶴崎中）空手道女子（組手）

⑦ 平成27年度大分県中学校駅伝競走大会成績

- 第1位 男子 坂ノ市中  
女子 大東中
- 第2位 女子 大分西中

## 6 福田展・朝倉展

趣 旨

郷土出身の画家故福田平八郎先生、彫刻家故朝倉文夫先生の御遺志を長く本市教育に生かすために「福田平八郎賞」、「朝倉文夫賞」基金条例を制定し、昭和37年度から図画展、昭和44年度から彫塑展を開いて、市内小中児童生徒の図工・美術教育の振興を図っている。

(1) 福田展の記録

昭和37年5月1日～6日

トキハ文化ホールにおいて福田平八郎画伯近作展が開かれる。

昭和38年2月6日～10日

市条例により「福田平八郎賞」大分市小・中学校図画展がはじまる。

回	期 間	会 場	応募作品数	入選数	入賞者数
50	平23.11.10 ～11.17	コンパルホール	41,378	4,187	470
51	平24.11. 8 ～11.15	アートプラザ	41,059	3,685	471
52	平25.11.20 ～11.27	アートプラザ	40,785	3,657	464
53	平26.11.19 ～11.25	アートプラザ	40,537	3,637	460
54	平27.11.18 ～11.24	アートプラザ	40,428	3,635	454



「福田平八郎賞」図画展

(2) 朝倉展の記録

昭和42年10月6日～19日

大分文化会館において朝倉文夫遺作展が開かれる。

昭和44年11月6日～10日

市条例により「朝倉文夫賞」大分市小・中学校彫塑展がはじまる。

回	期 間	会 場	入賞者数
43	平23.11.10～11.17	コンパルホール	334
44	平24.11. 8～11.15	アートプラザ	335
45	平25.11.20～11.27	アートプラザ	335
46	平26.11.19～11.25	アートプラザ	332
47	平27.11.18～11.24	アートプラザ	339



「朝倉文夫賞」彫塑展



## 7 大分市奨学金制度

### (1) 大分市奨学資金制度

#### 定期採用

#### ① 奨学生の資格

- ア. 保護者が大分市内に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校及び大学に在学中の者
- ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者
- エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者

#### ② 貸与の区分、期限及び金額等

学 校	区 分	期 間	金額（1人当月額）	返 還
高 等 学 校 高等専門学校	無利子貸与	正規の修学期間	国公立 10,000円 私 立 20,000円	貸与を終了した日から6ヶ月を経過する 日の属する月の翌月から15年以内
大 学	”	”	45,000円	”

#### ③ 奨学生の決定方法

教育委員会が委嘱した市内の高等学校の長、中学校の長、民生委員児童委員から推薦された者及び教育委員会が委嘱した学識経験者をもって組織する大分市奨学生選考委員会（委員10名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

#### ④ 平成27年度の貸与状況

学 校	1	2	3	4	5	6	計	金 額
高 等 学 校 高等専門学校	16	26	25	1	4	0	72	15,120,000円
大 学	27	30	24	29	6	2	118	63,180,000円

#### 緊急採用

当分の間、特例措置として、修学意欲があるにもかかわらず、家計急変により修学困難となり緊急に学費を必要とする者を対象とし、年間随時受付を行う。

#### 平成27年度の貸与状況

学 校	1	2	3	4	5	6	計	金 額
高 等 学 校 高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0円
大 学	0	0	0	0	0	0	0	0円

### (2) 大石奨学資金

個人からの寄附を原資とし、学業人物ともに優秀で、かつ経済的理由により修学困難な者に対して学資の一部を贈与する制度。

なお、平成27年度末をもって廃止。

#### ① 奨学生の資格

- ア. 申請者及び申請者の保護者が、引き続き2年以上大分市に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学中の者
- ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者
- エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者
- オ. 大分市奨学資金及び大分市緊急採用奨学資金との併用をしない者

#### ② 贈与金額 1人当月額10,000円

#### ③ 贈与期間 在学する高校等の入学から起算して最大3年間

#### ④ 奨学生の決定方法

教育長が依頼した者をもって組織する大石奨学生選考委員会（委員5名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

#### ⑤ 平成27年度の贈与状況

学 年	1	2	3	計	金 額
人 数	0	0	4	4	480,000円

### (3) 大分市高等学校修学支援奨学資金

個人からの寄附を原資とし、高等学校等に入学又は在学する生徒のうち、経済的理由により入学金又は進級時の教育費の調達が困難な者に対する学資の一部を贈与する制度。

なお、平成27年度末をもって廃止。

#### ① 奨学生の資格

- ア. 申請者及び申請者の保護者が、引き続き1年以上大分市に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学中の者
- ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者

- エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者
- オ. 大分市奨学資金及び大分市緊急採用奨学資金並びに大石奨学資金との併用をしない者

- ② 贈与金額  
支給する時点での学年により、1年生は1人につき100,000円、2、3年生は1人につき50,000円（年1回限り）
- ③ 贈与日 入学時（新1年生）又は進級時（新2、3年生）
- ④ 奨学生の決定方法  
教育長が依頼した者をもって組織する奨学生選考委員会（委員5名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。
- ⑤ 平成27年度の贈与状況

学 年	1	2	3	計	金 額
人 数	3	3	3	9	600,000円

(4) 未来自分創造資金

平成26年度に新設した、高校生等を対象とする予約制の給付型奨学資金制度。

- ① 奨学生の資格
  - ア. 保護者が大分市内に住所を有していること
  - イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学中の者
  - ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者
  - エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者

② 貸与の区分、給付時期及び金額

学 校	区分	給 付 時 期	金額（1人当り）
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	給 付	入学する年度の前年度の3月	100,000円
		進級する年度の前年度の3月	50,000円
		卒業する年度の3月	50,000円

- ③ 奨学生の決定方法  
教育委員会が委嘱した市内の高等学校の長、中学校の長、民生委員児童委員から推薦された者及び教育委員会が委嘱した学識経験者をもって組織する大分市奨学生選考委員会（委員10名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

④ 平成27年度の贈与状況

学 年	人 数	金 額
中学3年	5	1,000,000円
高校1年	4	200,000円

## 8 大分市立小・中学校隣接校選択制

隣接校選択制は、小・中学校とも、居住地によって定められた「指定校」の他に、指定校の通学区域に隣接する通学区域の学校（隣接校）への入学を希望することができる制度であり、小・中学校とも、児童生徒、保護者が、通学の安全性や通学距離、各学校の特色等を考慮し、自ら学校を選択できる機会を拡大した。

小・中学校隣接校一覧

区分	地 区	NO	指 定 校	隣 接 校										
小 学 校	大 分	1	金 池 長	長 浜 大	道 豊	府 荷	揚 揚	町 島						
		2	長 池 長	池 金	荷 揚	住 大	中 道	金 池	長 浜	住 吉				
		3	荷 揚 中	中 島	春 日	大 道	大 道	金 池	長 浜					
		4	中 島 住	住 吉	荷 揚	中 日	大 道	長 浜						
		5	春 日 八	八 幡	荷 揚	中 日	大 道	長 浜						
		6	大 道 荷	揚 町	春 日	中 日	大 道	長 浜						
		7	西 の 台 春	日 町	大 道	城 南	西 の 台	八 幡	南 大	豊 府				
		8	南 大 分 豊	府 大	大 道	城 南	西 の 台	八 幡	南 大	豊 府				
		9	城 南 荏	隈 南	大 分	西 の 台								
		10	荏 隈 城	南 池	賀 来	南 大								
		11	豊 府 金	池 南	大 分	大 道								
		12	八 幡 春	日 町	神 大	西 の 台								
		13	神 崎 八	幡 幡										
		14	滝 尾 下	郡 明	野 西	森 岡								
		15	下 郡 滝	尾 津	留 野	明 野	西 大	東 分						
		16	森 岡 滝	尾 津	留 野	敷 野	戸 寒	大 分						
		17	東 大 分 日	岡 津	留 野	舞 鶴	明 野	西 下	郡					
		18	日 岡 桃	園 東	大 分	三 佐								
		19	桃 園 明	治 北	日 岡	明 野	北 別	保 鶴	崎 三	佐				
		20	津 留 東	大 分	舞 鶴	下 郡								
		21	舞 鶴 東	津 留	東 大									
		22	住 吉 中	島 長	長 浜	荷 揚								

学 校 教 育

区分	地 区	NO	指 定 校	隣 接 校										
小 学 校	明 野	23	明野西	明野東	明野北	滝尾	尾治	下郡	東大分					
		24	明野東	明野西	明野北	明野北	明野北	明野北	明野北					
		25	明野北	明野東	明野西	明野西	明野西	明野西	明野西	明治北				
	鶴 崎	26	三 佐	鶴 崎	日 岡	桃 園	桃 園	保 治	大 在 西	川 添				
		27	鶴 保	三 崎	桃 園	別 園	別 園	明 治	大 在 西	川 添				
		28	別 保	鶴 崎	桃 園	明 治	明 治	明 治	大 在 西	川 添				
		29	明 治	明 治	明 野	明 野	明 野	明 野	明 野	明 野				
		30	明 治	明 治	明 治	明 治	明 治	明 治	明 治	明 治				
		31	高 田	松 岡	明 治	明 治	明 治	明 治	明 治	明 治				
		32	高 川	田 添	松 丹	岡 生	明 鶴	明 鶴	明 鶴	明 鶴				
	33	松 岡	田 判	田 判	田 判	田 判	田 判	田 判	田 判					
	大 南	34	戸 次	上 戸	次 野	吉 野	松 岡	判 田	竹 中					
		35	上 戸	次 野	吉 野	吉 野	吉 野	吉 野	吉 野					
		36	吉 野	中 判	田 判	上 野	上 野	上 野	上 野					
		37	竹 中	田 判	田 判	上 野	上 野	上 野	上 野					
	植 田	38	判 田	竹 中	中 松	岡 野	岡 野	岡 野	岡 野					
		39	東 種	田 田	尻 宗	方 宗	方 宗	方 宗	方 宗					
		40	種 田	田 横	瀬 宗	方 宗	方 宗	方 宗	方 宗					
		41	賀 来	来 荏	隈 宗	方 宗	方 宗	方 宗	方 宗					
		42	敷 戸	野 鴛	野 森	岡 野	岡 野	岡 野	岡 野					
		43	鴛 野	判 田	敷 野	敷 野	敷 野	敷 野	敷 野					
		44	宗 方	種 田	東 種	田 種	田 種	田 種	田 種					
		45	横 瀬	西 横	瀬 野	野 津	原 東	原 東	原 東					
	大 在	46	横 瀬	西 横	瀬 野	野 津	原 東	原 東	原 東					
		47	寒 田	尻 寒	東 種	田 種	田 種	田 種	田 種					
		48	田 尻	寒 田	東 種	田 種	田 種	田 種	田 種					
		49	大 在	大 在	大 在	大 在	大 在	大 在	大 在					
50		大 在	大 在	大 在	大 在	大 在	大 在	大 在						
51		丹 生	小 佐	井 川	添 大	大 在								
52		小 佐	井 丹	坂 ノ	市 大	大 在								
53		坂 ノ	小 佐	井 丹	坂 ノ	市 大	大 在							
佐 賀 関	54	こうざき	坂 ノ	市 佐	賀 関									
	55	佐 賀	関 坂	ノ 市	佐 賀	関								
野 津 原	56	野津原東部	野津原中部	横瀬西	種 田									
	57	野津原中部	野津原東部	野津原西部										
	58	野津原西部	野津原中部											
中 学 校	大 分	1	碩 田	上 野	ヶ 丘	王 子	城 東	東 大分	城 東	滝 尾				
		2	上 野	ヶ 丘	碩 田	王 子	城 東	東 大分	城 東	滝 尾				
		3	王 子	上 野	ヶ 丘	碩 田	王 子	城 東	東 大分	城 東	滝 尾			
		4	大 分	西 王	子 城	城 南								
		5	大 南	分 西	王 子	城 南								
		6	城 南	南 上	大 分	大 分	西 賀	南 来						
		7	滝 尾	城 東	明 野	種 田	東 上	野 ヶ 丘						
		8	城 東	滝 尾	明 野	種 田	東 上	野 ヶ 丘						
	明 野	9	原 川	城 東	明 野	種 田	東 上	野 ヶ 丘						
		10	明 野	滝 尾	城 東	大 東	東 陽	大 在						
		11	鶴 崎	原 川	大 東	東 陽	大 在							
	鶴 崎	12	大 東	東 鶴	陽 崎	大 東	東 陽	大 在						
		13	大 東	東 鶴	陽 崎	大 東	東 陽	大 在						
		14	戸 次	吉 野	野 次	東 陽	判 田	竹 中						
	大 南	15	吉 野	野 次	野 次	東 陽	判 田	竹 中						
		16	竹 中	野 次	野 次	東 陽	判 田	竹 中						
		17	判 田	野 次	野 次	東 陽	判 田	竹 中						
		18	種 田	田 南	種 田	西 南	南 大	野 津						
	植 田	19	種 田	東 滝	種 田	西 南	南 大	野 津						
		20	種 田	西 滝	種 田	東 南	南 大	野 津						
		21	種 田	南 滝	種 田	東 南	南 大	野 津						
		22	賀 来	城 南	種 田	西 南	南 大	野 津						
	大 在	23	大 在	坂 ノ	市 大	東 陽	神 崎							
		24	坂 ノ	市 大	東 陽	神 崎								
		25	神 崎	坂 ノ	市 大	東 陽	神 崎							
	佐 賀 関	26	佐 賀	関 神	崎 野									
		27	野 津	原 種	田 種	西 種								

・学校情報の公開

児童生徒、保護者が指定校や隣接校について十分な情報が得られるよう、学校案内の配布、学校ホームページの公開、学校公開日の設定等により学校情報を公開する。

・受入定員と抽選

各学校とも現有施設で対応し、余裕教室などの状況に応じて、受入定員を定め、希望者が受入定員を超過した場合は、公開抽選により受入者を決定する。